

令和2年度臨時国立大学法人筑波大学経営協議会議事録

I 日 時 令和2年7月17日（金） 14:50～16:15

II 会 場 学士会館「210号室」（東京都千代田区神田錦町3-28）

III 出席者〔学外委員〕

伊井忠義、河田悌一、工藤智規、齋藤康、住川雅晴、花井陳雄

〔学内委員〕

永田恭介、清水諭、木越英夫、BENTON Caroline F.、勝野頼彦、稲垣敏之、原晃

〔オブザーバー〕

佐藤副学長、阿部副学長

IV 議 題

〔審 議〕

- (1) 令和元年度財務諸表について————— 【一部席上配付資料】〔審議1資料〕
- (2) 第3期中期目標期間の評価（4年目終了時評価）における中期目標の
達成状況報告書及び業務の実績に関する報告書について————— 〔審議2資料〕
- (3) 国立大学法人筑波大学における会議等の開催方法の特例を定める法人規則の
制定について————— 〔審議3資料〕

〔報 告〕

- (1) 令和3年度国立大学法人運営費交付金（機能強化経費等）の概算要求の方向性
について————— 〔報告1資料〕
- (2) その他

V 議 事

議事に先立ち、前回書面審議の際に学外委員から質問及び意見のあったことについて、担当副学長・理事から回答を行った。

〔審 議〕

1 令和元年度財務諸表について

勝野副学長・理事から、審議1資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、学外委員と学内委員との間で、有価証券から現金預金への切り替え、経常費用における人件費の割合、コロナ禍における特定機能病院の損失への国からの補償、外部資金受入額等について意見交換が行われた。

2 第3期中期目標期間の評価（4年目終了時評価）における中期目標の達成状況報告書及び業務の実績に関する報告書について

阿部副学長から、審議2資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、学外委員と学内委員との間で、積極的な自己評価、資料の簡素化や有効活用等について意

見交換が行われた。

- 3 国立大学法人筑波大学における会議等の開催方法の特例を定める法人規則の制定について
稲垣副学長・理事から、審議3資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

〔報告〕

- 1 令和3年度国立大学法人運営費交付金（機能強化経費等）の概算要求の方向性について
勝野副学長・理事から、報告1資料に基づき報告があった。

2 その他

学外委員と学内委員との間で、政府が決定した研究開発やスタートアップ支援のための基金設立について意見交換が行われた。

また、学外委員から、学生が新型コロナウイルス感染症に罹患してしまった際の心のケアに留意してほしい旨要望があった。

永田学長から、本学独自の学生への支援策である経済支援パッケージの紹介があり、総額7億円の支出を決定し、支援金等をすでに学生へ渡した旨報告があった。

以上